

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 平成31年 4月19日(金) 13:10～

場所 白石市役所3階 第3会議室

1. 学校健診情報の可視化取組みによる公衆衛生向上のための協定締結式
2. 白石ゆかりの二人から絵画2点の寄贈について
3. おもしろいし市場落成式について

学校健診情報の可視化取組みによる公衆衛生向上のための協定式

～生涯にわたる市民の健康増進及び公衆衛生の向上を目的とした
市立小中学校における健康診断情報の活用事業について

このたび、白石市、一般社団法人 健康・医療・教育情報評価推進機構（以下「機構」という。）及び京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻薬剤疫学分野（以下「京都大学」という。）の 3 者間において協定を締結し、下記の取組みを実施することといたしました。

これにより、生涯にわたる市民の健康増進及び公衆衛生の向上を図っていくこと目指します。

記

1 事業概要（協定内容）

- (1) 本市から、市立小中学校で実施した学校健康診断結果の情報(※)を匿名デジタル処理した上で、機構及び京都大学に提供する。
※本事業への参加について保護者の同意があった児童生徒の情報のみ対象
- (2) 情報提供を受けた機構及び京都大学では、当該情報を分析し、その分析結果を本市に無償でフィードバックするとともに、疾病予防研究の資料として活用する。
- (3) 本市では、フィードバックされた当該分析結果を個人単位に復元、参加した児童生徒各人に提供し、健康管理に役立ててもらおうとともに、教育委員会では市立小中学校間における健康保持増進・健康教育に活用する。

2 目的

学齢期における児童生徒の健康の保持増進及び健康状態の把握のために実施している市立小中学校の健康診断情報について、市民の将来における生活習慣病予防や健康意識の向上に役立てるとともに、疾病原因の学術研究に提供し、公衆衛生の向上に貢献する。

3 事業実施期間（協定期間）

平成 3 1 年 4 月 1 9 日～平成 3 2 年（令和 2 年） 3 月 3 1 日

ただし、有効期限満了日の 1 ヶ月前までに、甲及び乙、丙のいずれかからの解約の意志表示がないときは、自動的に 1 年間延長されるものとし、以後も同様とする。

平成31年4月定例記者会見資料

白石ゆかりの二人から絵画2点の寄贈について

担当：総務部総務課

■作品・寄贈者

①作品名：「うつろい」（縦45cm×横30cm） 制作者：小松大希

②作品名：「結の杜～つながるいのち、つながる愛～」

（縦45cm×横30cm） 制作者：小松大希、木村美香 共同

■制作者

・小松大希（こまつ だいき）

1985年多賀城市生まれ。亘理町在住。白石工業高等学校建築科卒業。高校卒業後、建設会社や設計事務所に勤務。鉄道を描く趣味ジャンル「描き鉄（かきてつ）」の活動を、2006年から開始。日頃手馴れていた設計製図ソフト「CAD」で鉄道を描画。2017年福島交通飯坂線の新車両1000系の外装をデザイン。

・木村美香（きむら みか）

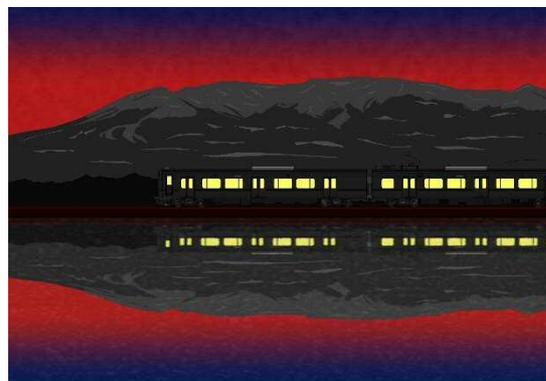
1991年白石市生まれ。仙台市在住。東中学校、白石女子高等学校卒業。現在、仙台うみのもり水族館のパフォーマンスチームに所属し、イルカ・アシカのトレーナーとして活躍するかたわら、趣味の絵画を続ける。

■寄贈・作品への思い・コメント

・「うつろい」について（小松氏）

これまで「描き鉄」として活動を続け、初めて白石市をテーマとした作品を制作。作品制作はコンピューター技術を用い、その基礎基本を学んだのはこの白石の地であり、形として「恩返し」が出来ないかと思案した結果、絵画作品寄贈という結論に至りました。

またかつて、白石市も「鉄道の町」であったこと、昨今は四季島の停車により、再び「鉄道」という面で脚光を浴びつつあり、再度市民の皆様へ、鉄道と地域の生活や観光への在り方を考えていただくきっかけとなってほしいと願っています。



・「結の杜」について（小松氏・木村氏）

昨年、仙台うみの杜水族館で開催した鉄道イベントに合わせて製作した新作。動物たちへの愛、そして東日本や西日本豪雨での甚大な被害を受けた鉄道会社の支援として製作した作品です（三陸鉄道、井原鉄道に寄贈済み）。

小松は白石工業高卒業で、3年間白石の地で青春を過ごした特別な地であり、また木村は生まれ育ちが白石。お互いの描く作風やジャンルは異なりますが、共に同じ時期に、多感な年代を白石で過ごしたことから、感性のルーツは白石市の自然や風土にあります。

市民の方々、特に学生の皆様に、地域を大切に思う心、一人一人の感性を尊重し合い、そして人との出会いを大切にすることによって、可能性が無限に広がること、夢も大きく広がることを知ってほしいと願います。



おもしろいし市場落成式について

担当：市民経済部農林課

「しろいしSunpark」は、国道4号沿いの官民遊休施設を有効活用し、農産物等販売施設や地元食材活用レストラン、6次産業化加工施設等の農商工振興施設（地方創生推進交付金活用）と、大型遊具や交流スペース・事業所内保育所スペース等を備えた子育て支援・多世代交流複合施設（地方創生拠点整備交付金活用）を官民連携により段階的に一体整備し、宮城県及び白石市の地方創生推進の一大拠点とすべく整備を進めています。

平成30年7月に6次産業化加工施設「みのりFactory」が操業を開始し、8月には子育て支援・多世代交流複合施設「こじゅうろうキッズランド」がオープンしました。「こじゅうろうキッズランド」は、大型遊具や年齢に応じた遊具を備え、小学生までの子どもが天候を気にせず安心して遊べる施設として、オープンから7か月余りで入場者数は5万人を超え、白石市民をはじめ市外からも多くの方々に利用いただいています。

また、本年4月25日にオープンする農産物等販売施設「おもしろいし市場」は、市内や県内を中心とした幅広い農産物や特産物の販売拠点として、来場者にとって魅力的で特色のある施設となるとともに、農業者や物産事業者などにとっても販路拡大を実感できる施設となるよう、関係機関と連携してまいります。

さらに、地元食材活用レストラン「みのりKitchen」と、食の安全や栄養成分を調査分析する研究施設「みのりLabo」の設置運営事業者に対する支援を行うなど、来年春のグランドオープンに向けて各施設のさらなる魅力向上はもちろん、施設同士の連携・相乗効果を図りながら「しろいしSunPark」が宮城県南地域の一大交流拠点となるよう整備を進めます。

しろいしSunPark
おもしろいし市場（白石市農産物等販売施設）落成式

日時：平成31年4月25日（木）

午前9時30分～

場所：おもしろいし市場

～ 次 第 ～

オープニングアトラクション

（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘職員による獅子舞）

- 1 開 会
- 2 あいさつ
白石市長 山 田 裕 一
- 3 事業概要説明
農林課長 安 藤 信 行
- 4 来賓祝辞
- 5 来賓紹介
- 6 祝電披露
- 7 運営委託事業者あいさつ
特定非営利活動法人小十郎まちづくりネットワーク
理事長 佐 藤 賢 一 様
- 8 テープカット
- 9 閉 会

－ 工 事 概 要 －

工 事 名 白石市農産物等販売施設（おもしろいし市場）整備工事

場 所 白石市福岡長袋字八斗蒔 20 番地 1

整備概要 鉄骨造金属瓦葺き平屋建 延床面積：約 887 m²

事業費

- 施設実施設計・工事管理業務
 - ・請 負 者 株式会社フケタ設計仙台事務所
 - ・業務期間 着工 平成30年 2月 2日
 - 完成 平成31年 3月28日
 - ・委託料 24,300,000円
- 施設整備工事
 - ・請 負 者 株式会社平間組
 - ・工 期 着工 平成30年9月21日
 - 完成 平成31年3月29日
 - ・工事請負費 241,461,000円
 - 事業費計 265,761,000円

地方創生交付金 132,880,000円

運営事業者 NPO法人小十郎まちづくりネットワーク（公募により委託）